

令和4年度 延岡しろやま支援学校 学校関係者評価

学校経営ビジョン(学校経営方針)

ビジョン1 「チャイルド・ファースト&チャレンジド・ファースト」を柱とした学校運営
ビジョン2 「社会に開かれた教育課程」の具現化を目指した3つの視点(しろやまOPQ)によるカリキュラム・マネジメントの推進 O…Original(オリジナル) 恵まれた教育資源を生かした、本校ならではの教育実践 P…Pride(プライド) 県北のセンター校としての矜持(きょうじ)を示す取組 Q…Quality(クオリティー) 卒業後の豊かな生活を支える生涯学習の推進
ビジョン3 子供の学びを支え、可能性を最大限に伸ばす教育環境の整備
ビジョン4 「学校の信頼回復」と「働き方改革」

※評価の基準 4:十分達成された 3:概ね達成された 2:やや不足点がある 1:ほとんど達成されていない

方針	具体的取組事項	評価	評価コメント
ビジョン1	(1)子どもの権利条約、障害者権利条約の理解促進と人権感覚の涵養を図り、併せてコンプライアンス遵守及び言語環境の整備を図る。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも人権感覚を磨き、1人ひとりの子どもを大切に作る環境を作っていただきたい。</li> <li>・学校における努力は窺えるが、地域・保護者からそのような姿が見られないとの声もあり、実践の中で結果が出されていないのではないかと。</li> </ul>
	(2)校訓及び新しい幼児児童生徒像に基づく教育活動の充実 「表現」 自ら考え、自分らしく表現する子ども(思考力・判断力・表現力等) 「実践」 学んだことを生かし、実践することも(知識・技能) 「挑戦」 夢をもち、自ら挑戦する子ども(学びに向かう人間性等)	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長を感じることができた。</li> <li>・充実した教育活動がなされていたと思う。</li> <li>・学校参観を通して、職員の工夫した取り組みが見られた。</li> <li>・「共生コース」開催セレモニーでより理解が深まった。(高千穂校)</li> <li>・学級編制や職員配置に関しては、今後も子どもの実態を十分考慮して行って欲しい。</li> </ul>
ビジョン2	(1)卒業後の視点を大切にしたいカリキュラム・マネジメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立や社会参加の基礎となる意欲と力の育成</li> <li>・地域とつながる教育活動</li> <li>・幼稚部から高等部まで一貫したキャリア教育の推進</li> </ul>	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中で、よく取り組んでいる。</li> <li>・商業施設での販売活動を今後も開催し、PRにつなげたい。</li> </ul>
	(2)複数障がいに対応した特別支援学校教職員としての専門性の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本となる障がいの理解」の徹底</li> <li>・OJTの推進と専門的指導力の向上</li> <li>・オンライン研修や自主研修等OFFJTの推進と研修機会の充実</li> </ul>	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の時間をいかに確保するかが課題であると思われる。OJTやOFFJTの日常的な取組が必要である。</li> </ul>
	(3)スポーツ・文化芸術活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における教育活動の工夫と参加・発表機会の充実</li> <li>・外部機関連携やICT活用による作品展や校外販売等の推進</li> </ul>	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中での指導・参加活動状況は大変よい。</li> <li>・開校10周年記念式典や共生コース開催セレモニーで、生き生きと発表する生徒の姿に感動した。細かな指導が感じられた。</li> </ul>
ビジョン3	(1)ICT教育の推進と活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台端末の効果的な活用</li> <li>・オンライン授業や遠隔授業等を取り入れた教育活動の推進</li> </ul>	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用に積極的に取り組んでいると思う。職員の技術向上や環境の整備が大切である。</li> <li>・幼児児童生徒のためにも、今後もっと活用できる体制にして欲しい。</li> <li>・職員の取組は理解できるが、ハード面、ソフト面での充実が必要である。</li> </ul>
	(2)感染症や災害の発生への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、生徒指導、災害時対応等の視点で環境整備・校内美化</li> <li>・危機管理委員会を中心とした感染症対策や災害時対応の強化</li> </ul>	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分対応できていると思う。衛生面など不十分な部分はその都度改善していくとよい。</li> <li>・コロナ禍で非常に難しい対応を迫られ、大変であると思われる。</li> <li>・災害対策はBCP(事業継続計画)を絡めて対応するとよい。</li> </ul>
ビジョン4	(1)「不祥事は絶対起こさない。」という強い覚悟と「高い倫理意識」をもった学校の信頼回復	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で意識して取り組んでいる。</li> <li>・日常の当たり前から少しずつ感覚のひずみが生まれることが危険であるので、些細な気づきの時に修正することが必要である。</li> </ul>
	(2)ホームページ、ツイッター、マスコミ等を活用した積極的発信	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から、もっと学校について知りたいと考えており、子どもに関わる職員の様子や学校の状況を知りたいと思っている。</li> <li>・地域や保護者から見えない部分はまだある。様々な手段で学校の様子を発信することは大切である。</li> </ul>
	(3)「見える化」やICT活用による事務作業等の効率化と、質の高い教育活動へ向けた「働き方改革」の推進	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が子どもたちに十分向き合うためにも、負担軽減は必要である。</li> <li>・どの職場においても難しい問題だが、慣例を外れ、無理・無駄を排除していくことが大切である。</li> </ul>